

トクサンコーカン

天理参考館
公開講演会

第 255 回

関西本線の盛衰

—関西鉄道の奮闘と駅弁ラベルから垣間見える現状—

9月30日(土) 講師：乾 誠二(学芸員)

明治22年に営業を開始した関西鉄道は名阪間を結ぶ重要な幹線で、官設鉄道と熾烈な貨客獲得競争を繰り広げたことが知られています。明治40年の国有化後は、東海道本線の補完的な路線、限定的な地域路線となっていきました。路線図や時刻表等の資料からその歩みをたどるとともに、駅弁ラベルから関西本線の現状について見てみます。

シリーズ『創設者・中山正善の足跡』

本年は、当館創設者・中山正善氏の没後50年の節目の年に当たります。創設者の生前の功績を偲び、その足跡を改めて振り返るシリーズ講演を2回にわたり開催します。

第 256 回

シリーズ① 創設者とオリエント学

10月21日(土) 講師：巽 善信(学芸員)

創設者は日本オリエント学会の設立準備メンバーで、同学会の常務理事も務めました。オリエント学との関わりは深いと言えます。最も遠い地域の最も古い文明を学ぶ意義は何だったのでしょうか。古代エジプトのように死者を「身体ぐるみ昔の儘にして置く」という様な考え方が、我々の東洋と申しますか極東にどのような影響をして居るか」という創設者の問題意識には、日本人の本質的理解につながる重要な意味があります。

第 257 回

シリーズ② 世界隅から隅まで —創設者と海外巡教—

11月25日(土) 講師：梅谷 昭範(学芸員)

創設者・中山正善氏は、生涯に19度の海外巡教を行なっています。近くは朝鮮半島、中国から、遠くは南米、アフリカまで、まさに「世界隅から隅まで」を体現するように、その渡航先は地球規模にわたります。実地に見聞することを通して得られた様々な知見は、当館の創設を含め、次々と新しいアイデアを生み出す創造力の源泉となりました。本講演では、創設者が自ら執筆された数々の旅行記などを基に、その壮大な足跡をたどります。

◆会場：当館研修室 ◆時間：13時30分～(受付は30分前より)

◆定員：100名(申込み不要/当日先着順)

◆受講料：入館料のみで受講できます(友の会会員300円,一般400円)

※常設展および開催中の特別展もご覧いただけます。

天理参考館
寄付のご案内

天理参考館では皆様からの寄付をお願いしております。詳細は下記のサイトをご覧ください。
<http://www.sankokan.jp/etc/kihu.html>

世界の生活文化と考古美術の博物館
天理大学附属

天理参考館

TENRI UNIVERSITY SANKOKAN MUSEUM
〒632-8540 奈良県天理市守目堂町250番地
TEL 0743-63-8414 FAX 0743-63-7721
URL <http://www.sankokan.jp/>